

DC BASIC GUIDE

企業型確定拠出年金（DC）とは 制度の基本としくみ

選択制企業型DCの基礎知識と、確定給付企業年金（DB）との違いをまとめました。

企業型確定拠出年金の基本のしくみ

企業型DCは、事業主が毎月掛金を拠出し、加入者（従業員）自身が金融商品を選んで運用する年金制度です。将来受け取る金額は、拠出額と運用の成果によって変動します。選択制DCでは、掛金にあてるかどうかを従業員自身が選べます。

3つの税制優遇ポイント

① 拠出時

**掛金は給与とならず
課税対象になりません**

拠出金は所得税・住民税の計算対象に含まれません。

② 運用時

**運用益が
非課税です**

通常の金融商品では運用益に約20%課税されますが、DCの運用益は非課税で再投資されます。

③ 受取時

**退職所得控除等の
税制優遇があります**

60歳以降、一時金または年金で受け取る際も税制上の優遇措置の対象になります。

拠出限度額の目安

他の企業年金制度がない場合、月額5.5万円（年間66万円）が上限の目安です。実際の上限額は制度の併用状況により異なりますので、詳しくは個別にご確認ください。

こんな企業様におすすめです

- ◆ 従業員の採用力・定着率を高める福利厚生を増やしたい
- ◆ 退職金原資を計画的に、外部で積み立てておきたい
- ◆ 役員報酬や給与にかかる税・社会保険料の負担を見直したい
- ◆ 小規模企業でも無理なく始められる制度を探している

貴社にとってのメリットを具体的に知りたい方へ

従業員数・報酬水準をもとにした無料シミュレーションをご用意しています。

DB（確定給付企業年金）との違い

	企業型DC	DB（確定給付企業年金）
加入対象	厚生年金適用事業所の従業員等	厚生年金適用事業所の従業員等
掛金の拠出	会社が拠出（加入者本人も選択可）	会社が拠出
給付額	運用成果により変動	あらかじめ確定
積立不足時の対応	会社の追加負担は発生しません	会社側で追加拠出が必要になる場合があります
運営コスト	比較的抑えやすい傾向	資産運用・数理計算等でコストがかかる傾向
受け取り時期	原則60歳以降	退職時、または年金として受給

ポイント

- ◆ DBは給付額があらかじめ確定する分、運用リスクを会社が負います。
- ◆ DCは運用リスクを加入者が負う一方、会社側の積立不足リスクがありません。
- ◆ 近年は運用環境の変化を背景に、DBからDCへの移行を検討する企業も増えています。

自社にどちらの制度が合うか知りたい方へ

現行制度の内容をお伺いしたうえで、比較検討の材料をご提供します。